伊丹市技能功労者表彰要綱

(目 的)

第1条 この表彰は、永年同一の職種に従事し、優れた技能をもって社会に貢献した人々の功績をたたえると共に、技能労働者の社会的地位および技術水準の向上を図ることを目的とする。

(表彰基準)

第2条 伊丹市内に居住する技能労働者で、第3条に定める職種の内から、次の各号に掲げる条件を満たしている者であること。

- (1) 年齢50才以上で同一職種における経験が30年以上の者
- (2) 現在も引続きその職に従事し、その職種の指導的立場にある者
- (3) 他の技能労働者の模範となる者
- (4) 各種団体・事業所等の責任者または技能を証明できる団体の推薦が得られる者

(表彰対象職種の範囲)

第3条 表彰の対象となる職種は、別表のとおりとする。

(選考方法)

第4条 第2条第4号に該当する責任者または団体は、表彰基準に該当するものがあると認めるときは、別に定める様式をもって推薦するものとする。

- 2 市長は、前号の規定により推薦された者の内から書類審査のうえ表彰の対象となる技能功労者を選考する。
- 3 市長は、第6条に規定する伊丹市技能功労者表彰選考委員会に諮って被表彰者を決定する。

(表 彰)

第5条 この表彰は、勤労感謝祭行事の一環として市長が行う。

- 2 被表彰者は20人以内とし、被表彰者には表彰状と記念品を贈る。

(選考委員会)

第6条 伊丹市技能功労者表彰選考委員会の委員は次の各号に掲げる者とする。

- (1) 労働者代表 1人
 - (2) 経営者代表 1人
 - (3) 学識経験者 1人
 - (4) 本市職員 1人
- 2 会長は、選考委員のうちの本市職員をもって充てる。
 - 3 選考委員会の庶務は、都市活力部産業振興室商工労働課が行う。

(その他事項)

第7条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し、必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この要綱は、昭和53年9月11日から施行する。

付 則

この要綱は、昭和55年9月1日から施行する。

付 則

この要綱は、昭和62年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成4年7月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成14年11月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成18年10月10日から施行する。

付 則

この要綱は、平成23年11月10日から施行する。

付 則

この要綱は、令和元年5月9日から施行する。

(別表)<対象職種>

1. クリーニング師	13. 畳職
2. パン・菓子製造職	14. 植木職
3. 鍼灸あん摩師	15. 造園師
4. 電気工事士	16. 家具・建具製造職
5. 配管職	17. 表具師
6. 自転車組立整備士	18. 理容師
7. 時計組立・修理職	19. 美容師
8. 自動車整備士	20. 洋服・和服仕立職
9. 板金職	21. 洗張職
10. 金属溶接・溶断職	22. 印刷職
11. 大工職	23. 金属工作機械職
12. 左官職	24. その他市長が適当と認めた 職種